

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	A さん		
所属	_____学部・大学院_____教科教育実践_____学科・専攻		
留学先機関名	カルガリー大学 (国名： カナダ)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2020 年 2 月 10 日－ 2020 年 3 月 13 日 (2 月 8 日出発、3 月 16 日熊本到着)	留学開始 時学年	___2___年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☐ JASSO 海外留学支援制度 ☒ 国際奨学事業 (熊本大学) ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	高校時代に使用していた単語帳等を使い、外国で使いそうな単語を覚えて勉強した。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☒ プログラム費用 25万円 ☒ 宿泊費用(寮/ホームステイ等) 3万円 ☐ ビザ申請 円 ☒ 渡航費(□片道 ☒ 往復) 23万円 ☒ 海外旅行保険料 2万円 ☒ 食費 5万円 ☐ その他() 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	全日空、エアーカナダ	手配	阪急交通社 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	航空機	到着 時刻	2月8日 20:30 【※移動時間(約 13 時間)】
大学(寮)への 移動手段	☒ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☐ 公共交通機関(□バス □電車) □その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	ホストファミリーの迎えがあるはずなので心配しなくてもよい。事前にホストファミリーにどこにいるか伝えるとよい。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☒ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	通信手段についてだがSimカードやポケットwifiがあるとどこでも通信出来て便利。しかしカナダはfree wifiが設けてる場所が多々あるのでそんなに必要はない。もしどこでも通信したければsimカードをお勧めします。なぜならsimカードならばポケットwifiより安価であるから。しかし、事前にsimカードのロックをする必要がある。また、バンクーバーや羽田、カルガリーにはsimカードがあまり売ってない為現地で購入したほうが良い。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	5週間計20日間の授業 午前中9：00～12：00 各ESLクラスによる授業 月曜日の午後13：00～15：00 vocabulary の授業 火曜、木曜の午後13：00～15：30 literature circle(小説を読んでグループでディスカッションする授業) 水曜日の午後13：00～15：00 pronunciation の授業 金曜の午後は基本的に自由参加のアクティビティとなっています
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	学校の建物内は基本的に英語でコミュニケーションをとらなければならなかった。しかし、普段の会話も英語で喋ることでリスニングやスピーキングの力は自然についた。病気やトラブルが起こった時も気軽に対応してくれるオフィスがあるので安心して学校生活や普段の生活を過ごすことができた。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学IDの設定等）	UCIDカードの作成。ジム登録など
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日は基本的に同じクラスの学生や熊本大学で同伴した学生と過ごした。カルガリーにはたくさんの観光地やショッピングモールがあり、楽しく過ごすことができた。私のおすすめはクロスアイロンミルズというアウトレットモールがあるのでそこには是非行ってみたいと思います。日本より安い洋服やコスメ類、色々なものが売ってあります。現地の学生とはジム等で仲良くなり、一緒に身体を動かしました。また、街にはバーなどお酒を飲む場がたくさんあって、そこでも交流を深めることができました。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

ホームステイや留学先の学校では常に英語でのコミュニケーションの為にスピーキング能力やリスニング能力は自然に身に付けることができた。また、日本人やアジアの人間は英語圏の外人に話しかけられると動揺してしまう傾向にありますが留学を経験すると動揺してしまうことがなくなり自然に会話をすることができた。学校の先生やホームステイ先のファミリーと会話をしていると自然に積極性が生まれ英語での会話に自信がついてくる。カナダの人はQ & Aをはっきりしないと向こうの機嫌をとってしまう可能性がある。自信を持って返答すると良いと思われる。最初はコミュニケーションがとれるか心配しがちだがカナダに降り立ったら自信を持って自分が今知っている単語を伝えて、分からないときは分からないとはっきりした方がよい。授業を受けていたらコミュニケーション能力や全般的な英語の能力は身についてくる。たった5週間だと思いがちだが意外と英語の力はつくことは保証します。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

恐らく留学行くまでは不安や色々な悩みがあると思いますが、何でも経験だと思い込んでしまえばどんな困難にあっても経験として残っていくので自分自身にとっても成長させてくれると思います。留学先の大学ではどの先生も気さくでいい先生ばかりです。学校側のサポートもしっかりしていて安心して学校生活を送ることができます。学校では基本的に英語で会話をしなければならないのですが金曜日のアクティビティに参加する場合はそこでも英語で話さなければなりません。場所を問わずなるべく日本語は使わずに積極的に英語を使っていけば語学能力の成長にもつながります。また、カルガリー大学では大学内に事務が設置されており、向こうの大学でジムの登録をするといつでもジムの施設を使用することができ、体育館でバスケットやバドミントン、ウィンタースポーツなどのスポーツも楽しむことができます。授業がおわった放課後など友達と行くと気分転換にもなります。カナダは多民族国家なのでたくさんの人種のホストファミリーが生活しておりいろんな国の文化も体験出来て日本以外生活できる貴重な体験ができると思います。クレジットカードは二枚持って行った方がいいとおもいます。

留学を通しての感想

私は人生で初めて海外に渡航しました。それがカナダのカルガリーで本当に良かったと感じています。カナダの人間はとても親切で、優しくみんな良い人ばかりでした。また、日本と異なり異世界に来た感じがしてとても新鮮な雰囲気を感じることができました。どこの場所に降り立ってもすべてがオシャレで外国の文化の違いを経験することができました。英語の勉強に関しては特に自分でも成長したことを感じています。外国の大学で英語を勉強することは私にとってもとてもいい経験になり自信にも繋がりました。外国人の英語を聞くだけでもいい勉強になるし、自然に身に付けることができました。学校の授業以外でもたくさんの観光地や街にでかけたりして外国に行かなければ体験できないようなアクティビティなども経験できて本当に良かったと感じています。私が特に苦労したのはコミュニケーションです。やはり言葉の壁は難しかったです。しかし自分なりに勉強してどうしたら伝わるか、自分なりに伝えようと頑張りました。最終的には自分から話しかけるぐらい成長していて自分でもびっくりしました。また行きたいです。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	B さん		
所属	_____ 文 _____ 学部・大学院 _____ コミュニケーション情報 学科・専攻		
留学先機関名	カルガリー大学 (国名： カナダ)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2020 年 2 月 10 日ー 2020 年 3 月 13 日 (2 月 8 日出発、3 月 16 日熊本到着)	留学開始 時学年	1 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☐ 国際奨学事業 (熊本大学) ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		

写真貼付

(枚数制限なし)

1. 出発前の準備について

ビザの申請	☐ 有 ☒ 無 種類()	ビザ申請先	☐ 国内 ☐ 現地 場所()
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	学校の教科書		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用(おおよ その費用)	☒ プログラム費用 180000 円 ☒ 宿泊費用(寮／ホームステイ等) 115000 円 ☐ ビザ申請 円 ☒ 渡航費(☐ 片道 ☐ 往復) 230000 円 ☒ 海外旅行保険料 34000 円 ☐ 食費 円 ☐ その他() 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA AIR Canada	手配	阪急交通会社 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	熊本→羽田→バンクーバー →カルガリー	到着 時刻	22 時頃 【※移動時間(約 13 時間)】
大学(寮)への 移動手段	大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☒ 公共交通機関(☒ バス ☐ 電車) ☐ その他()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	ホストマザーの送迎		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他()
その他生活に必要な 手続き、アドバイス (口座開設、保険、 携帯電話、荷物、 支払い方法など)	携帯電話は家では Wi-Fi に接続できますが、通学途中で道に迷う ことなどがあるかもしれないのでその時のために SIM カードかド コモ海外利用などを使うといいと思います。ドライバーなどは現 地のスーパーで安いものだと 900 円くらいでありました。		

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について（授業・フィールドワーク内容、スケジュール等）	午前中は ESL の授業（プレゼンテーション、アクティビティ） 午後はボキャブラリー、発音、リテラチャーサークルの授業（本を読んだり、発音のテストをしたりなど）
留学先大学でのサポート体制について（語学面／学校生活／住居・日常生活等）	留学生用の事務室みたいなところがあり、わからないことがあればそこに行けば解決してくれた。ホームステイのことなども相談できた。先生方はどの先生も優しく安心して学習できた。間違えても、逆に間違えてくれてありがとうという感じでとても発言しやすかった。自信をつけることができた。
留学開始後に行った留学先大学の手続き（学生証、履修登録、大学 ID の設定等）	Wi-Fi の手続き、学生証の発行
休日や余暇の過ごし方（観光、現地学生との交流等） ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	休日はナキスカスキーやバンフツアーに参加した。また、ホストマザーと映画に行ったり、知り合いの方とスノーシューイングに出かけたりした。後半は大学で知り合った友人とお土産を買いにモールに行ったり、熊本大学の人と動物園に行ったりした。 ツアーは学校が企画してくれるので応募すればよかったが、バンフツアーは人気だったため早めに応募しといた方がいいと思う。動物園は電車ですぐ行けるのでおすすめで、映画などやりたいことが有ればホストファミリーに相談してみるといいと思う。

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）

カナダは移民の国と呼ばれるほどさまざまな人種の方々がいた。アジア系の顔でもカナダ人であったり、アフリカ系のカナディアンもいた。お互いがお互いの文化を尊重しており、とても住みやすかった。その経験を通して、どのようにすればさまざまな人と共生できるのか知ることができた。また、バスなどではベビーカーを持った人が乗車してくると優先席に座っていた人は当たり前のように移動し、そしてベビーカーを持った人も当たり前のように優先席にいたため、そのようなところでも文化の違いを感じることができた。

同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）

学校は宿題がとても多いが、その分勉強することができ、日本で春休みを過ごすより有意義な生活ができます。ホストマザーと話が合わず、嫌になったり、自覚のないことで怒られることもありましたが、今ではいろんなことがあったなといい思い出だし、連絡も取り合っています。夜のダウントウンは危ないと言うので早めに帰ってより多くの時間をホストファミリーと過ごし英語力を高めることをお勧めします。ご飯が合わないなどあると思いますが、大学には弁当ずしという日本食のお店があるし、カフェテリアにはハンバーガーなども売っています。

留学を通しての感想

留学を通して英語を勉強したいという気持ちが高まった。1ヶ月という短い間で劇的に英語力が向上したわけではないが、英語を話すということに自信がついた。今まで文法が大事だと思っていたが実際は多少文法がおかしくても相手は受け取ってくれる。今後はもっと相手にうまく伝わるようコミュニケーション力を磨いていきたい。

ダウントウンにはホームレスの方が多くいる。若者も多いがカナダ人はそのような方にとっても親切だった。例えば、私は3月のマンスリーパス（バスの定期）を持っていたが、帰国時にもう要らなくなるので捨てようかしたら、ホストマザーにそれはまだ使えるパスだからホームレスの人にあげるように言われた。このように要らないものをどんどん捨てるのではなく服などもホームレスの人にあげるなどして人思いの気持ちが強い国だと思った。先ほどもバスのベビーカーの話もしたが、日本も当たり前のように譲る国になればいいと感じた。

熊本大学海外派遣留学生 報告書

(協定校サマースクール／語学セミナー)

氏名	C さん		
所属	理 学部・大学院 理 学科・専攻		
留学先機関名	カルガリー大学 (国名： カナダ)		
参加プログラム 区分	☐ 協定校サマープログラム ☒ 語学セミナー ☐ その他：		
留学期間	2020 年 2 月 10 日－ 2020 年 3 月 13 日 (2 月 8 日出発、3 月 16 日熊本到着)	留学開始 時学年	1 年次
奨学金 (奨学金を受給 した場合)	☐ 奨学金受給無し ☒ JASSO 海外留学支援制度 ☒ 国際奨学事業 (熊本大学) ☐ トビタテ！留学 JAPAN 【第 期】 ☐ その他 ()		



1. 出発前の準備について

ビザの申請	☒ 有 ☐ 無 種 類 (eTA)	ビザ申請先	☒ 国内 ☐ 現地 場所 (自宅)
留学に向けて 取り組んだ語学	☒ 英語 ☐ 独語 ☐ 仏語 ☐ 中国語 ☐ 韓国語 ☐ その他 (語)		
勉強方法	YouTube で Disney Channel や The Ellen Show を見ていた。		
必要経費 (留学に必要な 支払い費用) ※概算費用 (おおよ その費用)	☒ プログラム費用 \$2050 CAD ☒ 宿泊費用 (寮／ホームステイ等) \$1375CAD ☒ ビザ申請 \$7 CAD ☒ 渡航費 (☐ 片道 ☒ 往復) 往復 223,280 円 ☒ 海外旅行保険料 23930 円 ☐ 食費 ホームステイ費用込み ☐ その他 () 円		

2. 渡航～到着後の生活について

利用航空会社	ANA, Air Canada	手配	阪急交通社 ※利用したサイト、旅行会社等
移動経路 ※往路のみ	羽田、バンクーバー	到着 時刻	20:30 【※移動時間 (約 13 時間)】
大学 (寮) への 移動手段	☐ 大学手配の出迎え ☐ 知人の出迎え ☐ タクシー ☒ 公共交通機関 (☒ バス ☐ 電車) ☐ その他 ()		
空港から移動する 際の注意点 行き方、料金等	ホストファミリーが迎えに来ている。		
宿泊先	☐ 寮 ☒ ホームステイ その他 ()	宿泊 手配	☒ 大学の斡旋 ☐ 自分で その他 ()
部屋の種類	☒ 一人部屋 ☐ 二人部屋 その他 ()	ルーム メイト	☐ 日本人学生 ☐ 他国からの学生 その他 ()

その他生活に必要な手続き、アドバイス (口座開設、保険、携帯電話、荷物、支払い方法など)	短期滞在なので口座開設は必要なし。クレジットカード(VISA)を持って行った。バンクーバー空港で日本円三万円両替したが、一万円くらいで良いと思う。大学内でお菓子を買ったりご飯を買うのもクレジットカードで払った。逆に大金を持っていると危ない。 保険は入った方がよい。カルガリーで今シーズン二度目のインフルエンザに罹患してしまった。東京海上日動は選択すると通訳を付けられる模様。しかし、病状は自分で言えるに越したことはない。その程度の英語力はあった方がよいだろう。 携帯電話はポケットWifiを契約していったが、なくても大丈夫(周りの人に聞く英語力があれば。その方が勉強になる)。心配な人はSIMカードを買った方が安い。 荷物は、往路は一つのスーツケースにすべてを詰めてもう一つは殻で持って行くことをお勧めする。帰りは荷物が増える。
---	--

3. 留学先の大学について

プログラムの概要について(授業・フィールドワーク内容、スケジュール等)	まず、金曜午後のパーティーやアクティビティは行きたくなければいけない方がよい。短期滞在なので自分のやりたいことだけをしているとよい。日本人が多い環境で日本人と楽しむより私は図書館など観光に来ても行かないであろう所に行っていた。 授業は何も発言しない人に気を使う必要はない。すべての質問に自分が一番に答えるのだと思って文字通りずっとしゃべっていた。 習ったことは全てその日に覚えきるべき。遊びに行っているのではなく、語学研修に行っているという本来の目的を忘れてはならない。ショッピングセンターは観光旅行に来て行くことができるが、勉強は参加中しかできないので学習に集中しなければならない。ノート類は持参不要。小さなメモパッドやプリントをつづるファイルは配ってくれるし、クラスによっては配布プリントや板書をアップしてくれるのでノートは使わなかった。そのうえ、板書よりもとにかく話す機会のほうが多い。
留学先大学でのサポート体制について (語学面/学校生活/住居・日常生活等)	11階にあるOfficeに行くとなんでも尋ねることができる。到着一週間目だったと思うが、日本人向けのオリエンテーションがあった。日常生活では、私がインフルエンザになったときもホストマザーとホームステイコーディネーター、プログラムコーディネーター、熊本大学国際教育課が連絡を取ってくれた。
留学開始後に行った留学先大学の手続き (学生証、履修登録、大学IDの設定等)	学生証の発行。日本でうまくできなくても現地でできる。

休日や余暇の過ごし方 (観光、現地学生との交流等) ※どうやって探したか、きっかけなども具体的に	ホストファミリーと教会に行ったり、一人でぶらぶらしていた。あとは勉強に勤しんでいた。日本で買うより安いのでよく本屋に行って英語の本を購入していた。
---	--

4. 留学成果とアドバイス

留学によって得られた成果（語学に関すること、ものの考え方や取り組み方、コミュニケーション能力など自由に記載してください）
英語を話すことが賢さや自分の能力の高さの指標にはならないと再認識した。少し流ちょうに話せても内容がなければ、自分に教養がないことを露呈するだけという恥ずかしい結果になるだけである。よって、英語を話せるようになりたいといった目標はよい目標と思わない。 留学の成果として挙げられるのは、更に英語学習が楽しくなったということだ。もともと英語が大好きで英語の学習が楽しくて仕方がなく、何を差し置いても英語に触れる時間を確保したいような人間なので、渡航前から楽しかったが、参加後はもっと英語を使えるようになりたいという意欲が増した。授業で使ったテキストもまだ使っている。 五週間で英語がうまくなるとは思わない方がよい。住んで英語がうまくなるには少なくとも数年住む必要がある。
同じプログラムへ参加を希望する人へのアドバイス（留学先大学、プログラムに関すること、生活全般に関することなど自由に記載してください）
わからないことは、インストラクターでもホストファミリーでもその場で聞くべき。日本では曖昧でもその場は適当に収めて後で帳尻を合わせることが礼儀とされているが、カナダではそれはとても失礼である。どのようなことでも人を介して聞く人がいるが、直接聞いた方がよい。わからないことをわからないということは恥でないし、わからないことを放置することは進歩の妨げである。 前述したが、空気を読む必要もない。日本の学校教育、特に義務教育期間は授業中の議論に入ることができない人でも話しやすい環境をと教育されるが、そのような人はやる気がないとして放置されるししてよい。少しでも進歩したいのであるならば、アピール合戦並みにアピールする必要がある。その進歩の過程で山ほどの間違いをするだろうが、進歩において間違いを犯すことを避けることはできないので、間違いを恐れてはいけなない。間違いや質問を恥ずかしがっている限り、英語を使えるようにはならないと考えてよい。
留学を通しての感想

とにかく楽しかった。プログラム参加中様々な問題が発生し、そのたびにいろいろな方々に助けていただいた。上記のアドバイスはそうのように考える人もいるのか、くらいに捉えていただけるとありがたい。

最後に持って行くといよいものを書いておきます。

イヤホン、パソコン、耳当て、手袋、スパッツ、半ズボン(スパッツ、半ズボン、長ズボンの順ではくと温かい)、クリアファイル五枚くらい(日本の百均のほうが安い)、シャー芯の替え、レッグウォーマー、電子辞書、受け入れ許可証、モバイルバッテリー、保湿クリーム、リップ、目薬、マスク(とても乾燥している。のどぬーるマスク類があると喉が楽)、アイマスク、頭痛薬(乾燥と時差で到着一週間は頭痛がした)、胃腸薬、風邪薬、はさみ、のり